

第17回 夢の島レガッタ

帆走指示書 Sailing Instructions

1 適用規則

(1) 本競技会は、2017-2020 セーリング競技規則(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。

(2) 規則61. 1(a)を次の通り変更する。

「レース・エリアで関与したか、または目撃したインシデントに関わる抗議をしようとする艇は、その艇がレース中でなくなったあとの最初の適切な機会に、フィニッシュ・ラインに位置するレース委員会艇に抗議する意思と被抗議艇のセール番号を伝えなければならない。但し、これを行えない合理的な理由がある場合は、この限りではない。」を追加する。

(3) OP 級 B クラスはスキッパーズミーティングで説明される指示を優先する。

2 競技者への通告

陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 9:00 までに公式掲示板に掲示する。

4 陸上で発する信号

(1) 陸上で発する信号は、艇庫前に設置された掲揚ポールに掲揚する。

(2) 音響1声とともに掲揚されるD旗は『予告信号はD旗掲揚後30分以降に発する』ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで離岸してはならない。予告信号予定時刻の30分前までにD旗が掲揚されない場合は、そのレースのスタートが時間に定めなく延期されている。

(3) D旗がクラス旗の上に掲揚された場合、そのクラスのみに適用する。

5 レース日程

(1) レース日程

種 目	第 1 レース 予告信号 予定時刻	レース数
OP級 Aクラス	2/11(日) 10:05	4
	2/12(祝) 9:00	3
OP級 Bクラス	2/11(日) 10:10	出来る限り行う
	2/12(祝) 9:05	出来る限り行う

(2) 引き続きのレースのスタート順番は上記の順番とは異なることがある。

(3) 次のレースが始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を掲揚する最低5分以前に、音響1声とともにオレンジ旗を掲揚する。

(4) 最終日の 14:30 以降のスタート予告信号は発しない。

6 クラス旗

種 目	ク ラ ス 旗
OP級 Aクラス	OP級旗(黒色)
OP級 Bクラス	OP級旗(赤色)

7. レースエリア

レースエリアは公式掲示板に掲示する

8. コース

図1の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、其々のマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9. マーク

- (1) マーク1、2、3は、黄色の円筒形を使用する。
- (2) スタート・マークは、スタート・ラインのスターボードの端となるレース委員会艇とポートの端にある「ポール付オレンジ色の円筒形のブイ(ポールにはオレンジ旗)」とする。
- (3) フィニッシュ・マークは、フィニッシュ・ラインのポートの端となるレース委員会艇とスターボードの端にある「黄色のトレーニングブイ」とする。

10. スタート

- (1) スタート・ラインは、スターボードの端にあるオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端にある「ポール付オレンジ色の円筒形のブイ(ポールにはオレンジ旗)」のコース側の間とする。
- (2) スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これは規則A4を変更している。
- (3) 予告信号が発せられていないクラスの艇は、コースサイドの外側に出るとともにスタート・ラインからおむね50m以上離れ、予告信号が発せられたクラスの艇を避けなければならない。

11. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、ポートの端にあるオレンジ色旗を掲揚しているポールと、スターボードの端にある黄色のトレーニングブイのコース側の間とする。

12. ペナルティー方式

- (1) 規則42の違反に対し付則Pを適用する。
- (2) 規則P2. 3は適用せず、規則P2. 2を「2回目以降のペナルティーに適用される」と変更する。

13. タイムリミットと目標時間

- (1) タイム・リミットと目標時間は次の通りとする。

種 目	マーク1のタイムリミット	目標時間
OP級 Aクラス	20分	45分
OP級 Bクラス	20分	30分

- (2) マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースは中止する。目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、規則62. 1(a)を変更している。
- (3) 規則30. 3に違反しないでスタートした先頭艇がコースを帆走してフィニッシュした後10分以内にフィ

フィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。この項は、規則35、A4及びA5を変更している。

15 抗議と救済要求

- (1) 抗議しようとする艇は、レース委員会に通知するため、フィニッシュ後、フィニッシュラインに位置するレース委員会艇に近づき、抗議する意思と被抗議艇のセール番号を口頭で伝えなければならない。
- (2) 抗議書は、陸上本部で入手できる。抗議、および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にプロテスト委員会に提出されなければならない。
- (3) 抗議締切時刻はその日の最終レース終了時、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。
- (4) 審問の当事者または証人として名前があげられている対象者は、抗議締切時刻後30分以内に公式掲示板に掲示する。審問は**新艇庫2階のプロテスト・ルーム**にて掲示した時刻より始められる。
- (5) レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、規則61. 1(b)に基づき伝えるために掲示する。

16 得点

- (1) 本競技会が成立するためには1レースを完了することを必要とする。天候その他の理由により、本競技会が成立しない場合でも再レースは行わない。
- (2) シリーズの得点は、次の通りとする。
 - ・完了したレースが3レース以下の場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
 - ・完了したレースが4レース以上の場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- (3) 指示17(1)～17(5)の申告に関する手続きに誤りのあった艇に対し、レース委員会は審問なしに「PT P」と記録し、「確定順位+3点」の得点を記録する。ただし、その艇は、「DNF」の艇より悪い得点を与えられることはない。これは、規則63. 1、A4およびA5を変更している。なお、引き続きのレースが行われた場合には、指示17(2)の手続きの誤りについてはその直後のレースに、指示17(3)及び(5)の手続きの誤りについてはその直前のレースにペナルティーを課す。
- (4) 参加艇数とは、2月11日(日)8:45までに受付を完了した艇の数とする。

17 安全規定

- (1) 出艇しようとする艇の艇長は、大会本部に用意される出艇申告書に署名申告しなければならない。
- (2) 出艇申告は、その日の8:30から当該クラスのD旗掲揚15分後までに行わなければならない。出艇申告をしたが、何らかの理由で当日の出艇を取り消す艇の艇長は、上記時間内に「レース申告受付所」ですみやかに出艇申告の取り消しをしなければならない。
- (3) 帰着申告書はその日の最終レース終了時、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から45分とする。
ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。
- (4) 午前中のレース終了、レースの中止または延期により帰着した場合も帰着申告を行わなければならない。午後のレースの出艇、中止または延期されたレースが再開される場合、出艇前に指示17(2)に従い再度出艇申告を行わなければならない。

- (5) リタイアしようとする艇、及び引き続き行われるレースに出走しない艇は、速やかにレース・エリアから離れリタイアの意志を近くのレース委員会艇に伝え、指示17(3)の帰着申告を行った上、リタイア報告書を提出しなければならない。
- (6) OP級 Bクラスの艇には、レース委員会が配布する「識別リボン」をスプリットトップに装着しなければならない。
- (7) レース委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対しリタイアの勧告及び強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。この項は、規則62. 1(a)を変更している。
- (8) 参加する選手は、離岸から着岸まで有効な浮力体を持ったライフジャケットを着用しなければならない。

18 装備の交換

- (1) 損傷又は紛失した装備の修理又は交換は、レース委員会の承認なしには許可されない。艇または装備は、クラス規則に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

19 運営艇

運営艇の標識は、下記のとおりとする。

運営艇名	表示	旗色
レース委員会艇	RC (緑色)	白色
プロテスト委員会艇	JURY (白色)	赤色
救助艇	RESCUE (赤色)	白色

20 支援艇

- (1) サポートボートは、レース公示に従い競技会参加申込時に所定の様式により、レース委員会からその使用許可を受けなければならない。
- (2) 使用許可を受けたサポートボートには、無線機もしくは携帯電話機を搭載し、参加受付時に貸与されたピンク色旗を掲揚しなければならない。
- (3) サポートボートは、最初にスタートするクラスの予告信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするまでの間、レース・エリアに入ってはならない。ただし、OP級Bクラスの艇に指導するために、他のクラスのレースを妨げない範囲で行動することは許容する。全ての場合において、運営艇の指示があった場合には速やかに従うこと。
- (4) 運営艇が数字旗8を掲揚した場合、サポートボートは危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない

21 ごみの処分

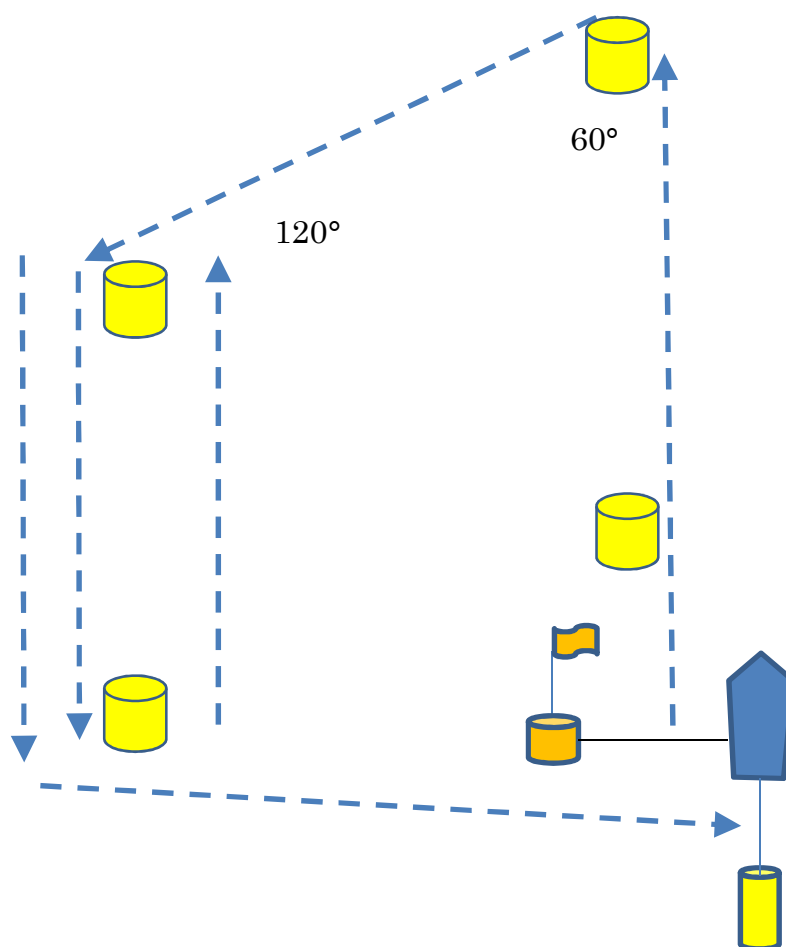
艇および支援艇は、水中にごみ等を捨ててはならない。支援艇、運営艇に預けてよい。

22 無線通信

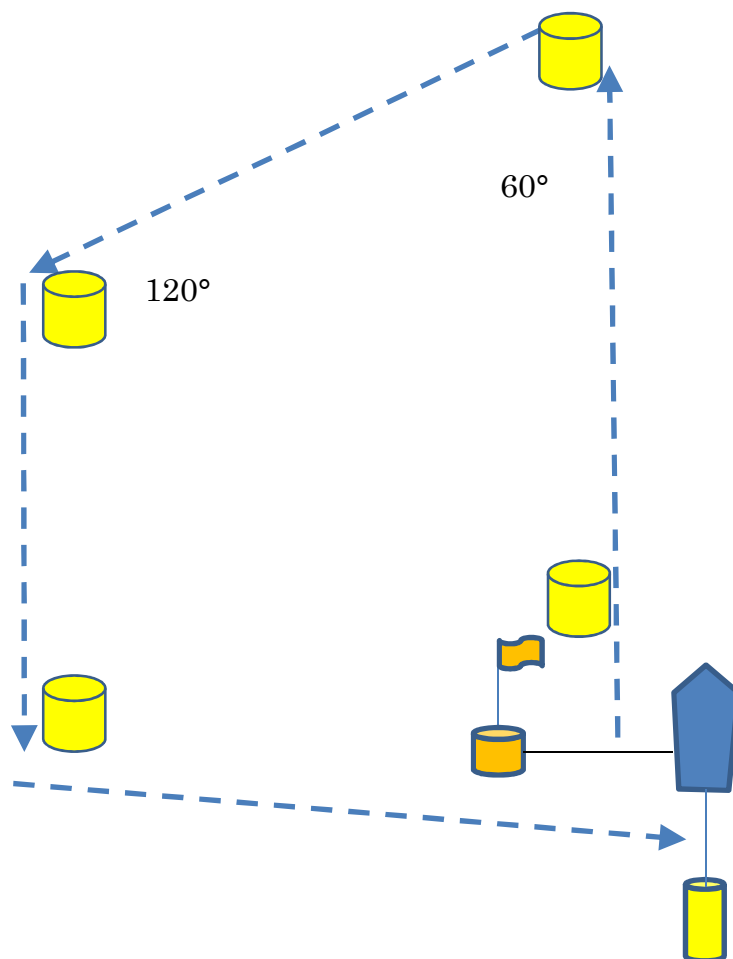
緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

23 責任の否認

本競技会の競技者は自分自身の責任(規則4「レースすることの決定」参照)において参加することが条件であることから、主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または身体障害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

図1. OP級Aクラス スタート→1→2→3→2→3→フィニッシュ

OP級 B クラス スタート→1→2→3→フィニッシュ



参考. バレンタインカップ レーザーラジアル・4. 7 420級
スタート→1→4→1→2→3→フィニッシュ

